

の道に合流する。

尾根道を五十メートルほど進むと道は十字路に交差するがまっすぐ進むとテレビ塔からの道に合流する。左折して山頂への道を右の方にやや迂回しながら緩やかに登ること二百メートルで山頂に着く。

このルートの湿地帯周辺は、特にマムシが多いので注意が必要である。

## 生活の中の布引山

山頂にある「風神」と「雷神」の氏子一同は、毎年二回登山道の整備をしていて、信仰の山として大切にしている。また、中腹にあるテレビの中継所は、町民にとつてなくてはならない施設である。

## 植物

布引山には、「カタクリ」「ヤブコウジ」「シヨウジョウバカマ」「シユンラン」が所々に見られる。

昭和五十八年に福島県が指定した「緑の文化財」には、

春日神社の三本が指定されている。

「ケヤキ」(登録第七十七号)

樹齢四百年、樹高三十四メートル、胸高周囲五・五メートル

樹齢四百年、樹高三十四メートル、胸高周囲四・七メートル

「スギ」(登録第七十八号)

樹齢五百年、樹高三十メートル、胸高周囲六・五メートル

これらの樹木は、「信達二郡村誌」に記されており、永禄五年(一五六一年)の社殿改修の頃植えたものと思われる。



ミンハギ